

2026年6月11日

NTT ドコモビジネス株式会社

**多様なデバイスの映像を統合して収集・蓄積・分析し、現場変革を加速させる
映像 AI プラットフォーム「docomo business SIGN VPaaS」を提供開始
～待ったなしの人手不足解消と安全対策を、セキュアな映像データ活用で実現～**

NTT ドコモビジネス株式会社（旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス）は、多様なデバイスから映像を収集・蓄積・分析し、多様な現場の変革を加速させる映像 AI プラットフォームサービス「docomo business SIGN VPaaS」（以下 本サービス）の提供を 2026 年 6 月 11 日より開始します。

本サービスは、施設・設備に設置されたカメラや、ロボット・ドローンなど現場の機器から映像を収集し、分析可能な形で統合管理するプラットフォームを提供します。さらに、セキュリティ機能を標準搭載した IoT 向けの NaaS（Network as a Service）である「docomo business SIGN™」^{※1} との機能連携により、映像データの活用における課題となっていたセキュリティリスクも低減させることができ、映像の高度な分析・活用を安全に実現します。

1. 背景

近年、防犯や品質管理、従業員の安全確保などさまざまな用途で、監視カメラをはじめとした撮影機器の設置が進み、国内の映像モニタリング市場には約 600 万台^{※2}のカメラが存在していると言われています。これらのカメラは、拠点や用途ごとに個別最適で導入されることが多く、異なるシステムやベンダーが混在している場合が多いです。加えて、保管コストやカメラへのサイバー攻撃によるセキュリティインシデントへの懸念などから、約 8 割^{※3}のカメラはネットワークに接続されていません。

これらの要因により、映像データの一元管理・集約ができておらず、横断的に活用することが難しいことから、業務効率化や安全対策の高度化に向けた利活用は十分に進んでいないのが現状です。

2. 本サービスの特長

本サービスは、点在する映像データを統合し、必要な情報を絞り込んで、無駄なく分析・保管できる映像 AI プラットフォームです。さらに、「docomo business SIGN™」をはじめとした

コネクティビティを組み合わせることで、安全性を確保しながら、映像データの高度な活用を実現します。

活用イメージは、【別紙 1】をご参照ください。



< 「docomo business SIGN VPaaS」 の活用イメージ図 >

本サービスの特長は以下の通りです。

(1)分散した映像データを統合し、横断活用を可能にするプラットフォーム

異なるメーカーのカメラなどのデバイスが混在している場合でも、複数拠点で撮影された映像データを統合管理し、拠点・用途を横断した映像データの検索やAI分析が可能です。また、本サービスに接続可能なデバイスは、JC-STAR^{※4}などの基準を踏まえ情報セキュリティリスクやサプライチェーンリスクに配慮していることをNTTドコモビジネスが確認の上、提携パートナー各社より提供します。なお、これらのデバイスのラインナップや提携パートナーは今後も拡大予定です^{※5}。

(2)必要な映像データを選別することで、効率的なデータ分析・活用を実現

すべての映像データをクラウドに転送するのではなく、定期的なスナップショットに加えて、人や車両の動き、物品の搬出入など、変化が起きたシーンを判別し、分析に必要なデータを中心にクラウドに送信・蓄積します。これにより、データ量を抑えながら効率的な分析を可能とし、コストと性能を両立させた映像活用を実現します。

(3)お客様のネットワーク構成や運用要件に合わせて選べるセキュアな通信環境

映像データを安全に収集するコネクティビティとして、「docomo business SIGN™」や、多様なセキュリティ機能とネットワーク機能を統合した NaaS である「docomo business RINK®」※6との機能連携により、セキュリティを確保した通信環境で、秘匿性の高い映像データを安全に活用できる環境を実現します。

なお、NTT ドコモビジネス社内では、本サービスを先行して活用し、全国拠点に分散するカメラから取得した映像データを統合管理するとともに、プライバシーに配慮した映像データへのアクセスや、業務効率化に向けた映像活用に取り組んでいます。

3. 提供開始日

2026年6月11日

4. 利用料金

「docomo business SIGN VPaaS」サービスサイト
(<https://www.ntt.com/business/services/vpaas.html>) からお問い合わせいただくか、NTT ドコモビジネス営業担当までお問い合わせください。

5. お申し込み方法

「docomo business SIGN VPaaS」サービスサイト
(<https://www.ntt.com/business/services/vpaas.html>) からお問い合わせいただくか、NTT ドコモビジネス営業担当までお問い合わせください。

6. 本サービスの対応デバイス提供予定会社

アムニモ株式会社、エッジマトリックス株式会社、Verkada Japan 株式会社、株式会社 NTT データ、NTT イノベーティブデバイス株式会社

(2026年6月11日時点。五十音順。今後、順次拡大予定です。)

7. 今後の展開

今後も、AI時代に最適な次世代 ICT プラットフォーム「AI-Centric ICT プラットフォーム®」※7構想のもと、本サービスの機能拡張を通じて、お客様の事業課題の解決と新たな価値創出に貢献します。

将来的には、エッジ AI とクラウド AI の連携により、蓄積された映像データとリアルタイム映像の一元的な分析・活用を可能にするとともに、分析結果を設備やロボットの制御に反映することで、サイバー空間とフィジカル空間の融合を実現します。これにより、認識から判断、実行までを一体化したフィジカル AI を実現し、異常の兆候検知から対応の自動化、さらには現場オペレーションの最適化に貢献します。

なお、本サービスの提供開始にあたり、パートナー企業などから寄せられたエンドースメントを【別紙 2】に掲載しています。

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つなごう。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

※1: セキュリティ機能を標準搭載した新たな IoT サービス「docomo business SIGN」の提供を開始

※2: 各種データからの当社のシミュレーション値です。

※3: 各種データからの当社のシミュレーション値です。

※4: JC-STAR とは、IoT 製品に対するセキュリティ要件への適合性を評価・可視化するため、日本で整備されたセキュリティ要件適合評価およびラベリング制度です。

※5: 連携パートナーとの協業の一環として、Verkada Japan 株式会社とパートナーシップ契約を締結しています。

※6: docomo business RINK[®]はいつでも、どこからでも安心・安全・簡単につながるセキュリティー一体型統合ネットワークサービスです。詳細は下記 URL をご参照ください。

[docomo business RINK[®]](#)

※7: AI-Centric ICT プラットフォーム[®]とは、企業が AI を活用して、生産性の抜本的改善、競争力強化やビジネスモデル変革を進める AI 時代に最適な次世代 ICT プラットフォームのことで。

【別紙 1】

＜小売店の店舗管理における「docomo business SIGN VPaaS」活用イメージ＞

敷パッド売場・10店舗稼働
店舗をクリックしてカメラ切替

対象店舗クイック切替
渋谷店

- 渋谷店** 敷パッド定点カメラ01 品出し遅延 (30分)
- 新宿東口店 敷パッド定点カメラ01 良好 (補充完了)
- 池袋本店 敷パッド定点カメラ01 欠品アラート
- 吉祥寺店 敷パッド定点カメラ01 安定稼働中
- 横浜西口店 敷パッド定点カメラ01 一部品薄
- 千葉中央店 敷パッド定点カメラ01 安定稼働中
- 大宮東口店 敷パッド定点カメラ01 一部品薄

定点カメラモニター: 渋谷店 定点CAM-02

FPS: 24.0 | RES: 1080P

前後10秒アーカイブ録画 (自動検知クリップ) 前10秒自動保存

店舗名・時刻で検索...

- 渋谷店 11:24:12 CAM01_SHEJUYA_132462_132422... 再生
- 池袋本店 10:45:00 CAM03_IKEDAJUKURO_104450_10451... 再生

本日のエリア一括改善利益予測合計 改善予測利益 **¥112,000**
AI定点カメラが検知した要対策店舗の補充タスクをすべて完了した場合、以下の会計改善利益 (売上機会) が見込めます。

本日のエリア全体機会損失額 (暫定) 機会損失額 **¥72,000**
現在、複数の店舗で陳列数減少 (棚空) や品出しの遅延を検出しています。現場への補充指示を速やかに処理してください。

要対策店舗アラート (リアルタイム解析) 10店舗同時稼働中

<p>渋谷店 緊急対応</p> <p>バックヤード整理による品出し遅延</p> <p>敷パッド 棚 4F</p> <p>モニター切替 ></p>	<p>池袋本店 緊急対応</p> <p>売れ行き急増による棚空発生</p> <p>敷パッド 棚 4F</p> <p>モニター切替 ></p>	<p>横浜西口店 要監視</p> <p>フェイス乱れ発生中</p> <p>敷パッド 棚 4F</p> <p>モニター切替 ></p>
<p>大宮東口店 要監視</p> <p>陳列数が2フェイスに減少</p> <p>敷パッド 棚 4F</p> <p>モニター切替 ></p>	<p>川崎店 緊急対応</p> <p>深次使納品仕分け遅れ</p> <p>敷パッド 棚 4F</p> <p>モニター切替 ></p>	

売上最大化に向けた分析レポート & アクションプラン 定点カメラの検知データと現場の売上・不満足度調査データが分析、売上機会を最大化します。

日次 月次 年次 期間: 2026/06/01 ~ 2026/06/01 適用 編集 出力

日次: 店舗別 棚空回数 vs 品出し完了回数 エリア: 渋谷

① 徹底別売上最大化アクション
渋谷店のアクションプラン
渋谷店では、現在「バックヤード整理による品出し遅延」により売上の機会損失が発生しています。カメラ解析による陳列数は1フェイス以下、バックヤードにある在庫 (敷きパッド: 商品CD 4901234567890) を大至急12点、売り場へ補充する指示を作業用端末に再送してください。
改善利益予測: **+28,000円** 実施完了にする

② エリア全体の傾向と対策 (日次・本日)
急激な気温上昇に伴う、冷蔵パッド一括最適配分プラン
10店舗の合計補充件数は51件。うち約33%が「バックヤード在庫なし (店欠)」による部分補充となっています。特に渋谷店・池袋店・川崎店で機会損失が集中。本日夜間に敷きパッドをエリア内倉庫 (または郊外店舗等の倉庫在庫店) から緊急再配分し、明日午前11時までに品出しが終わらせる体制を確立してください。

③ 改善効果シミュレーター 改善率: 30%

現在売上機会損失額 **¥21,600** | 予測される機会損失額 **¥50,400**
元の機会損失総額: **約¥72,000円** LLM補正シミュレーション

※一部の画像は生成 AI を使って作成しています。

【別紙 2】 エンドースメント ※五十音順

■ EDGEMATRIX 株式会社

代表取締役社長 太田 洋

EDGEMATRIX 株式会社は、NTT ドコモビジネス様による映像 AI プラットフォーム「docomo business SIGN VPaaS」の提供開始を心よりお祝い申し上げます。

現場の人手不足解消や社会の安全対策が急務となる中、分散した映像データをセキュアかつ効率的に一元管理・分析できる本サービスは、まさに市場が待ち望んでいた画期的なソリューションであると確信しております。

弊社は、これまで特に社会インフラ分野における映像エッジ AI の社会実装を推進してまいりました。NTT ドコモビジネス様には、2025 年度において弊社の「Edge AI Box」を最も多く販売いただいた最大のパートナーとして、多大なるご尽力をいただいております。

本サービスの開始を契機に、今後もお客さまへのさらなる価値創出に向けて、NTT ドコモビジネス様との緊密な連携をより一層強化し、共により良い社会の実現をめざしてまいります。

■ 株式会社 Mujin

CEO 兼 共同創業者 滝野 一征

NTT ドコモビジネス様とは昨年の出資業務提携を通じて、様々な取り組みの検討を行っております。本サービスは製造物流領域における生産性向上、業務改善に資するものと確信しており、業務提携の枠組みを通じて、共にソリューション・サービスの検討を進めてまいります。

■ Verkada

Verkada は、NTT ドコモビジネスと提携し、当社の映像技術を同社の AI を活用した広範な映像ソリューション・エコシステムに組み込むことを嬉しく思います。

■ Wasabi Technologies Japan 合同会社

取締役社長 脇本 亜紀

NTT ドコモビジネス様が、Wasabi Hot Cloud Storage を用いた映像 AI プラットフォーム「docomo business SIGN VPaaS」の提供を開始されることを歓迎いたします。Wasabi Hot Cloud Storage は、データの出し入れに課金しないというユニークな課金ポリシーと、非常に堅牢なセキュリティ機能で知られています。様々な映像データの一元管理のストレージに「Wasabi」を採用いただいたことで、スムーズな映像データの保存や AI による分析・活用を低コストかつ安全に実現することができます。本サービスにより、多くのお客様が散在するデ

一夕の一元管理と、そうしたデータから十分な価値を引き出すことができると確信しております。

■アムニモ株式会社

代表取締役社長 小嶋 修

NTT ドコモビジネス様による、映像 AI プラットフォーム「docomo business SIGN VPaaS」の提供開始を深く歓迎いたします。

映像活用の領域が、あらゆる現場やモビリティへと急速に広がるなか、映像からいかに本質的な価値を見出すかは、今後の DX 社会における最大のテーマです。「docomo business SIGN VPaaS」は、点在する多様な映像データをシームレスに統合し、日々の業務効率化だけでなく、次なる経営の舵取りに必要となる価値ある情報を抽出できる革新的なプラットフォームです。

アムニモ株式会社は、映像データを最適に制御・管理する技術パートナーとして、本サービスの実現の一翼を担えたことを大変光栄に思います。今後も、最先端の映像テクノロジーの開発を通じて、広く社会課題の解決と、企業の新たなビジネス価値の創出を支えてまいります。